コミュニケーションペーパー（COMIPA）

おやま～る

2021年
8月

8号

市民活動セミナー月間！

小山市市民活動センターでは市民活動に関するセミナーや講演会を随時実施している。2021年6月は小山市の現状で考えるべき事柄を中心に、参加者が市民活動を考えるきっかけになる会を実施した。

利用登録者・団体全体会　ー2021年度を迎えてー

6月26日の全体会では前半に、（一社）とちぎ市民協働研究会の代表理事である廣瀬隆人さん（元宇都宮大学教授）から「社会教育と社会貢献を考える」というテーマでお話をいただいた。まず、地域活動の特性として、「地域は歴史、風土によって大きく異なり・・・他の地域の事例を学んでも同じことはできない」ことを前提とするべきこと、だからこそ社会教育が重要であることを指摘された。すなわち、社会教育とは、「講座やセミナーなどをきっかけとして、人のつながりを創り出すことによって、自分たちの暮らしや地域を自分たちで良くしていこうとする地域づくりのこと」と定義され、ちまたに流布されている社会教育に関する多くの誤解・間違い・勘違いを明らかにされた。社会教育と市民活動の関係がわかりやすく語られ、また、時にはユーモアや毒舌をまじえての講演で、聴衆者は「廣瀬節」に惹きつけられるとともに多くのことを学んだという感想が聞かれた。

外国人と考える多文化共生セミナー（地域活性化研究会）

6月29日に「STONY」と「おやま～る」の共催で多文化共生再考セミナーが開催された。今回は参加者を４つのグループに分け、各グループに外国籍の方を１名リソースパーソンとして入っていただいた。ちなみに、彼らの出身地はベトナム、タイ、ウイグル、ブラジルである。各グループでは、まず、「多文化共生のイメージ」について15分語りあった。次にグループの一人が他のグループに移り（ワールドカフェ方式）、今度は「多文化共生を妨げているもの」について意見を述べ合った。最後に「多文化共生を推進するために」について議論をした。最後はもとのグループに戻り、多文化共生に関する重要なキーワードをあげてもらった。「歩み寄る」「相互理解」「教育」「扉を開く」など多くの言葉が発表された。日本人参加者も外国籍の人も意見交換することははじめてで、とても有意義で楽しかったと感想を述べた。

ワタシにとってのSDGsを見つける　地域×SDGsゼミ in小山

6月27日、7月4日の二日間、10代、20代の若者向けに地域とSDGsを考えるワークショップが開催された。小学生、高校生、大学生、社会人（30代以上はオブザーバー）が参加し、SDGsが提唱されるに至った背景やSDGsが目指そうとしている社会について学んだ。参加者はワークショップを通して、それぞれの大切にしている想いを見つめなおし、その想いを取り巻く社会について考えた。そして、そこに関係する社会課題を捉え、独自の発想で課題を解決するための道筋をそれぞれが思い描き発表した。

コラム　我逢人

5月にSDGs講座をやったとき、参加者に「幸せを感じるのはどのような時ですか」という質問をしました。

三十五の回答のうち十四回答が「家族や友達、好きな人といっしょに笑顔でいる時」のような内容でした。次に多かったのは、「食事をしている時」というような内容で九回答ありました。その他に「自然の中でのんびり」「ぼっとしている時」「好きなことをしている時」「前に進んでいる時」のような回答もありました。しかし、「お金を儲けた時」「流行の服を買った時」「スマホをいじっている時」と書いた人は一人もいません。

これを裏返して一般論で言うと、たくさんのお金を持っていても、「楽しく食事をできない人」や「親しい人がいない人」は、幸福感が低いということになります。

２０１０年に放映されたＮＨＫスペシャル「無縁社会」は私たちに大きな衝撃を与えました。「孤独死」「身許不明死」「行路死」「見捨てられ死」などいわゆる「無縁死」が年間３万２千人いたことを報告したからです。こんなにも多くの孤独で孤立して死んでいった人々がいたのです。

今回のコロナ禍において、失業し貯えがなくなった女性が、「貧困とは人とのつながりを壊してしまうんだ。そう痛感しました。」と新聞に語っていました。「つながり」は社会的動物としての人間の最低限の保証ですが、いとも簡単に壊れてしまうのが現代社会なのです。

この話を読んだとき、２００８年に起きた「秋葉原無差別殺人事件」を思い出しました。犯人は仕事を失うと、職場の友人も失い、「私に残っているのは掲示板だけになります。」と供述しています。そのネット上で攻撃してくる「成りすまし（他人を装って悪口を書く人）」に恐怖を感じるがしがみつき、誰だかわからない彼らに反撃するために無差別殺人を起こしたと言っています。

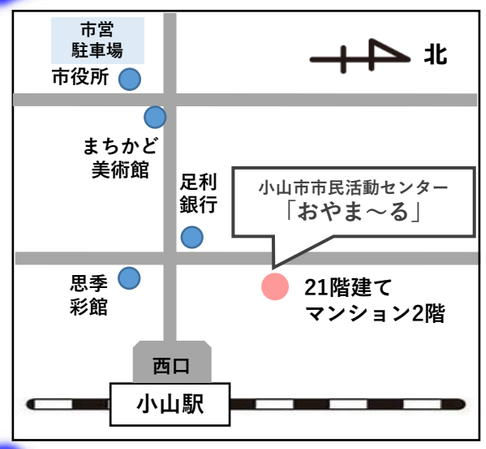
スマホやコンピュータを使えば、情報はいつでも簡単に手に入れることができる。ネットやＳＮＳでいつでも誰かと「つながる」ことができる。しかし、このようなつながり方は、先ほどの「家族や友達、好きな人といっしょに笑顔でいる時」のようなつながりかたとは、おそらく異なっていると思われます。「情報過剰の中での孤独」が今後の問題になると思われます。

落語などには「一人口は食えぬが二人口は食える」（独身だと生活に無駄があるが結婚すれば楽になる）、「貧乏人の子だくさん」のような話がしばしば出てきます。しかし、現在では少子化の原因として、「結婚できないのは貧しいから」「子どもを産めないのは貧しいから」と、多くの識者やコメンテーターが主張しています。

どうしてこのような意識の変換がおきたのでしょうか。家族という身近な「つながり」を躊躇するのは、どのような社会状況がうまれているからでしょうか。

行政やわたしたち中間支援センターにいる者は、市民活動を活性化するためには「つながり」が大切であるとしばしば話します。現代における「つながり」とは何かを真摯に考えなければならない時代であると思われます。

（センター長　結城史隆）



小山市市民活動センター
「おやま～る」
（指定管理団体：ゆめ評定）

〒323-0025
栃木県小山市城山町3-7-5
城山・サクラ・コモンビル2階

Tel: 0285-20-5562
Mail: info@oyamaru.net
Web: https://oyamaru.net

開館時間　9：00～21：00
休館日　年末年始（12/29-1/3）

今年は暑そうですね！夏バテ注意！！
心身ともに健康に活動しましょう！

市民活動センターからのお知らせ

小山市市民活動センターの8月、9月の催事

利用登録者・団体全体会　withおやま防災　ー防災・復興×市民活動ー

防災と復興をテーマに災害発生時に私たちに何が出来るのか？を考えます。

第一部：基調講演　ー被災地の現場からー
時　間：19:00～19:50（目安）
内　容：過去の災害とボランティアの活躍の場面について　講師：小山市社会福祉協議会　町田拓也さん
　　災害復旧～復興までの活動体験談　講師：とちぎボランティア団体　YAMBE

第二部：全体会ワークショップ　ー災害発生！私たちに出来ること！ー
時　間：19:50～20:30（目安）
内　容：災害が起こった時に市民や市民活動団体が出来ることを一緒に考えます。

日時：9/7（火）19:00～20:30　定　員：40名（申込必須）
場所：おやま～る　研修室　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館

NPOパワーアップセミナー

社会をよりよくしたいと活動するNPOの組織運営についての悩みをサポートするプログラム

①NPOのつくり方　組織の立ち上げ方やその考え方、法人化に関することなど考えます
日時：7/29（木）　13:30～15:30　講師：古河大輔（小山市市民活動センター）

②相手に届ける情報発信　実践的なワークを通して情報発信のノウハウを学びます
日時：9/16（木）　13:30～15:30　講師：しょうさん（プロブロガー）

③活動を支えるNPO事務　総会運営、会計、労務管理、所轄庁手続きなどNPO事務の仕事を学びます
日時：11/18（木）　13:30～15:30　講師：古河大輔（小山市市民活動センター）

定員：10名(各回)（申込必須）　参加費：各回500円
場所：おやま～る　研修室　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館

オンラインコミュニケーションツール（Zoom）の使い方を一緒に学ぼう

○初級編（Zoomをはじめて使用する方）
日時：8/27（金）13:30～15:00
内容：Zoomを使って会議に参加できるようになります。

○実践編（1回以上Zoomを使用したことがある方）
日時：9/24（金）13:30～15:00
内容：Zoomを活用した会議やセミナーを自ら開催できるようになります。

定員：各回6名程度（申込必須・先着順）　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館
場所：おやま～る　研修室　参加費：各回300円（資料代）
講師：藤本　尚彦（小山市市民活動センター）
※ノートPC（カメラ、マイク搭載）、スマホ、タブレットをご持参ください

傾聴してたら人生が豊かになってました　ー「話を聴く」から分かることー

第一部：傾聴のスキルを使って活動している方たちの人生の体験談！

第二部：実際に傾聴を体験するワークショップ！

日時：9/26（日）10:00～12:00　定　員：20名（申込必須・先着順）
場所：おやま～る　研修室　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館
共催：小山市市民活動センター　おやま～る　協　力：小山市傾聴ボランティア協議会
　　小山市社会福祉協議会

SDGsを深掘りするセミナー

SDGsについて少しずつ深掘りしていくセミナー第三弾！
日時：9/18（土）10:30～12:00　講　師：結城　史隆（小山市市民活動センター）
場所：おやま～る　研修室　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館

教えて！あなたの団体活動！

登録団体紹介

～NAフィールドツリーグループ～

インタビューした方：グループサービスリーダー　タケさん

NA（ナルコティクスアノニマスの略）フィールドツリーグループは薬物によって大きな問題を抱えた仲間の集まりです。我々は依存症を完治がない病気と考えています。当事者のみが参加するミーティングを通して、薬物を使わないクリーンな生活を送れるようにする自助グループです。ミーティングでは依存症の人間が少人数で集まり、過去の話などお互いの体験談を話し合っています。

参加者は誰にも打ち明けることができず孤立しがちになる人が多いです。はじめは緊張していますが、参加することで一人で抱え込まなくて済むようになり、気が楽になります。言葉にして話すことで今まで見えなかった自分が見えてくるようになり、更に所属感や承認欲求を満たすことに繋がります。私はミーティングを通してそれぞれが経験を共有し、一生付き合える仲間を見つけて、クリーンな人生を楽しんでほしいと願っています。そのような想いでNAフィールドツリーグループのミーティングを開催しています。

NAフィールドツリーグループでは栃木県県南地域を中心に月曜日から日曜日まで毎日どこかでミーティングを開催しています。小山市市民活動センターでも木曜日の会場として19:00～20:30の間、誰でも参加出来ます。予約の必要はありません。誰が来てもウェルカムです。参加する人の安全と安心を担保するために参加者の素性を知ることが出来ないように匿名性を徹底していますので、安心して参加してください。

参加者の安全と安心のため匿名性が保たれます。

ミーティングの様子。体験談を話したりしている。

～未来創造ネットワーク　白鷗～

インタビューした方：代表　中村永遠さん

未来創造ネットワーク白鷗（以下、未来ネット）は白鷗大学生を中心とした団体で、２００９年に創立されました。「未来を見つめ、地域を想う若きカモメたち」がキャッチコピーで、地域のため、人のためにボランティア精神を発揮して小山市の地域活性化に貢献しています。

未来ネットではさまざまな活動を行っています。この２年間だけでも子どもの健全育成支援、補導された青少年の立ち直り支援プログラム、小山の企業と連携した商品開発、異文化理解のための国際交流企画の実施、空き家のリノベーションとその利活用、小山の「新しい発見」を写真撮影してＳＮＳで発信するなど、まちづくりにつながる活動をしてきています。

未来ネットの活動は多岐にわたるため、プロジェクト毎に担当者を決めて主体性と責任を持って取り組んでいます。メンバーはボランティア活動から多くの学びを得ています。私自身、未来ネットでのボランティア経験を通して視野が広がり、内向的だった自分が人の前で発言できるようにもなりました。未来ネットの活動を通して所属学生も成長しています。

地域づくりの仲介役として、未来ネットが役割を担っているという意識で活動しています。「小山市と言えば未来ネット！」と言われるような、大学を越えた存在にしていきたいと思っています。

小学生が街を探求する「小山まちなか調査隊」

地域活性化に繋げる空き家リノベーション

当内容は、小山市市民活動センター「おやま～る」のWebサイトにも掲載しています。
ここには書いていない魅力も掲載していますので、是非ご覧ください！
https://oyamaru.net/dantaishoukai